

広 報

のほろへつ

主 な 内 容

- 要望や意見ぞくぞく 登別連と市長が対話集会…………… 2 P
- 7月10日付 人事異動…………… 3 P
- 緑の森にこだまする歓声 市民研修センターのご紹介…………… 4・5 P

○No. 284 ○昭和54年8月1日発行 ○編集発行/北海道登別市/総務部公聴広報課 ○印刷/中西印刷



スタートした

学校開放事業

市内のスポーツ熱が高まる中で住民に最も身近にある体育施設として、市内小・中学校の屋内体育館を一般に開放する、学校開放事業が、七月十六日からスタートし、順調なすべり出しを見せています。

今回、学校開放が行なわれているのは、温泉中、登別中、幌別小、青葉小、富岸小、若草小の六校で期間は十一月末までの土曜、日曜、祝祭日を除く、午後六時から八時三十分までとなっています。当初懸念されていた、利用方法も、使用の心得が守ら

れ、掃りの清掃も行き届いていないと、学校側の評価も好評です。スポーツ種目では、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球など多項目にわたっています。利用状況も、ほぼ満ばいとなっており、新たに利用を希望する団体は、総合体育館へお問い合わせください。(電話5局5552)

主な利用条件として、市内に住む十人以上の団体で、使用責任者を定め、スポーツ傷害保険に加入している人となっています。

8 1979 . 1

要望や意見ぞくぞく

登婦連と市長が対話集会

登別婦人団体連絡協議会（宮城キエ会長、十四団体二千人）と市長との対話集会が十一日、中央公民館ホールで開かれました。

市政を学ぶ機会として、登婦連が主要行事のひとつに取り上げてから今年で三回目を迎えました。今回は就任後初の中浜市長との対話とあつて、各地域の代表から要望事項がどんどん出され、活発な実りの多い懇談会となりました。

集会には、約八十人の主婦が参加。宮城会長と中浜市長がそれぞれ「市政発展のため努力していきたい」とあいさつしたあと、懇談会に入りました。

懇談事項の主なものとしては、婦人研修の家新設、保育所建設、合同庁舎の経過、市民会館建設についてなど九項目が出されました。初めに登別温泉婦人会の伊藤利子さんが「温泉支所内の公民館は調理実習などに不便。老人憩の家も老朽化している。婦人研修の家と合わせて、北大分院の官舎跡地に建設できないか」と質問。

これに対し、市長は「今後、支所を同温泉内に移転する考えなので今の支所を内部改造し、婦人のみなさんに利用しやすくしたい」と答えました。



7月11日に行なわれた、対話集会のもよう。

また、宮城会長は登婦連発足二十周年記念事業として行なってきた、市民会館建設のための、円募金運動に触れ「市長が代わって市民会館建設構想が変わったのかどうか、これまでに集めた約百万円の募金はどうか」と質問しました。

「水の使用量は、文明の尺度」といわれた時代がありました。生活水準が向上し、産業が盛んになるにつれて、水の使用量もぐんぐん増えることから、このよう

暮らしの源

8月1日(水の日)~7日

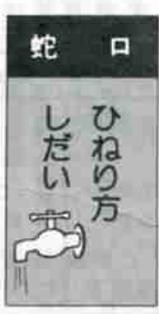
水の週間

は建てるつもりはない」と答えました。このほか、募金バスの運行、児童公園設置、寝たきり老人対策や児童館建設などの婦人層から要望の強い問題についても、市長は善処することを約束、盛会のうちに対話集会を終えました。

この増大する水需要をまかなうためには、今後とも、浄水場の拡張や水資源の開発が必要です。しかし、給水能力を高めるためには、多くの人の力、多額の資金がかかるばかりでなく、水資源には限りがあることを知らなくてはなりません。わたくしたちの暮らしに一日たりとも欠かせない水。大切に使いましょう。

節水型社会をめざして

蛇口から出る水の量は、一分間に、ちよつとひねって(三分の一)約五リットル、いっぱいひねると約二十五リットルにもなります。その差二十リットル——の節水は、あなたの使い方次第です。炊事など流しっぱなしで使うときは、蛇口のひねり具合を調節しましょう。



節水の工夫

家庭で使う水の中で、一番多いのは洗たく用です。洗たくもすすぎ方次第で水の使用量がずいぶん違ってきますので、工夫してみましょう。

昔から、豊富な水に恵まれてきたわたしたち日本人は、水をムダなく上手に使う節水の知恵——工夫を、ややもすると怠ってきたのではないのでしょうか。これからは「水は限りある貴重な資源」という考え方に立って、いま一度、水の使い方を工夫してやる必要があります。



すすぎの時間や回数にもよりますが、おおよそ、流しっぱなしのすすぎに比べて、水をためての「ためすすぎ」の方が、水の使用量は半分ですみまます。

洗たく

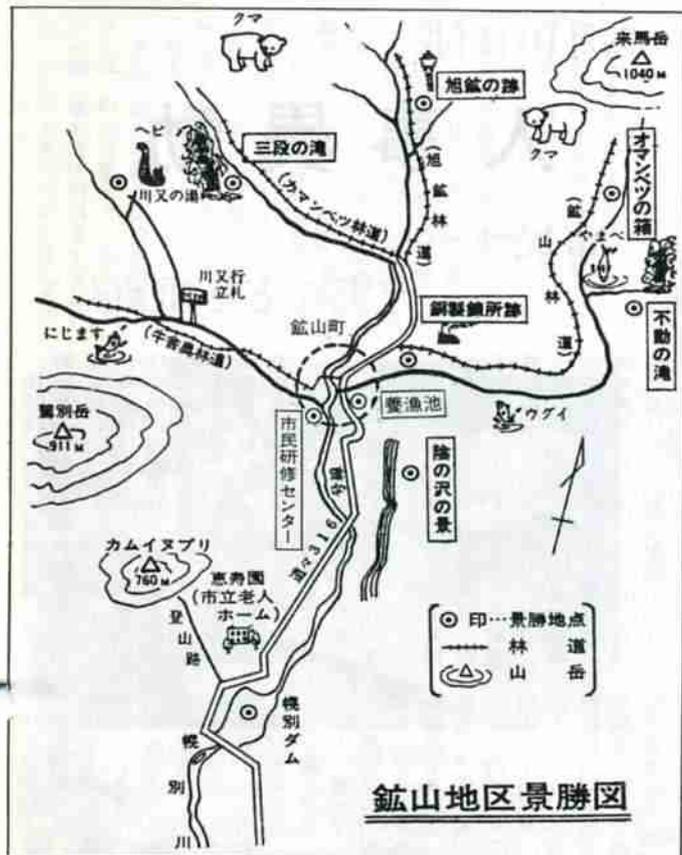
ためすすぎの
すすぎ

十リットルのバケツなら五杯もあれば十分ですが、蛇口を半分ひねって十五分間流しっぱなしで洗ったとしますと、約二百リットルの水が必要です。一週間に一度、月四回洗車するとして、バケツ洗いの場合、ホース洗いに比べて約六百リットルの節水になります。

洗車

バケツ洗いが
お得





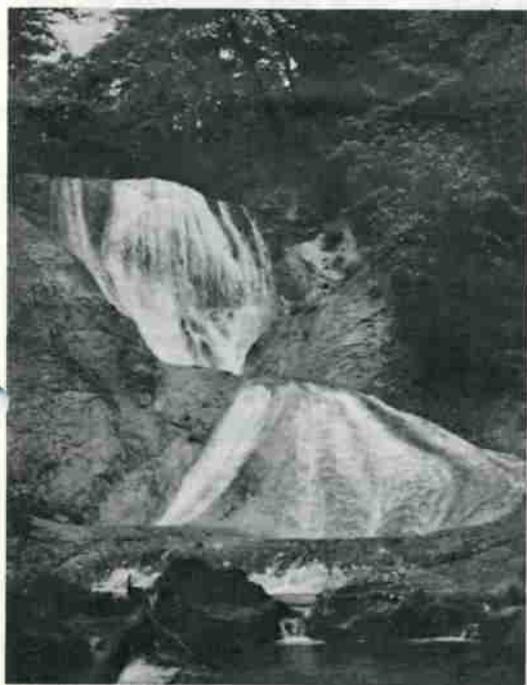
市営ニジマス養魚池



オマンベツの箱



川又温泉



三段の滝



市民研修センター近くの河原

夏休みの交通安全

子供たちにとって、待ちに待った夏休みが始まりました。

学校を中心とした規則的な生活から解放されるために、せっかくな身体についた交通安全のルールも、となく忘れがちになります。例年、夏休み中に交通事故にあらう子供がふえる傾向にあるのも、そのためです。

夏休みを楽しく安全に過ごし、元気に二学期を迎えることができるように、交通事故にはとくに気をつけましょう。

▼子供は、一つのことには熱中すると、周りのことが目に入りません。たとえば、ふだん大切にしているボールなどを落とすと、車の往来など眼中になく、拾いに行こうとします。道路を歩くときは、子供の手を握ってしっかり離さないように。

▼子供は大人のまねをします。子供の前ではちよつとした「ルール違反」も禁物です。

▼抽象的なことばで、ああしてはいけない、こうしてはいけない、というよりも、具体的なゲームを取り上げて指導するようにしましょう。

▼レジャー先など初めて通る道では、ふだんの生活で覚えた交通ルールが、うまく応用できるとは限りません。とくに注意してください。

▼子供の特徴を知ることが大切です。気分が変わりやすく、うれしきときや悲しいときは、そのことで頭がいっぱいになり、他のことまで注意が行き届かなくなりやすき。気をつけましょう。

市民

研修センター

緑の森に こだまする歓声

幌別市街から、幌別ダム沿いに上流へ車で約25分、深い緑につつまれた鉱山町があります。

かつて、明治、大正、昭和の三代にまたがり、金、銀、銅、硫黄の生産でにぎわった頃は、人口も670人を超える町でしたが、今では、戸数12戸という過疎の町になっています。ここに、4年前から鉱山レクリエーション村として、市が旧鉱山小中学校の校舎とグラウンドを開放し、自炊設備を整えて一般に利用されてきました。

今年は、校舎の内部を改装し、畳、ふとんなどを用意して、自炊生活ができる市民研修センターとしてオープンしています。

ふだんは、市内の小・中学生が特別活動の一環として、自然観察や野外活動、宿泊訓練の場として利用していますが、こしも夏休みを迎え、子ども会や各種団体が押しかけ、連日大にぎわいです。

市民研修センターの周辺は、自然環境に恵まれ、多くの景勝地があるほか、近くの川では釣りや川遊びを楽しむことができ、自然を相手の遊びには、こと欠きません。

また夜は、キャンプファイヤー用のマキも用意されていて、あかあかと燃える火を開

み、フォークダンスやゲームなどが行なわれています。

お年寄りから子供まで、だれもが利用できる施設です。また、テントも無料で利用できます。

◆お申し込み・お問い合わせは…市教育委員会社会教育課青少年婦人係（電話5局2111内線350）へどうぞ。

では、きょうも澄んだ空気と緑の中で、楽しそうな声が、こだましてくる市民研修センターと、付近の景勝地をご紹介します。

◆市民研修センター…宿泊兼用の畳敷きの研修室や会議などに利用できる部屋のほか、調理室には冷蔵庫、ガスレンジが設備されています。定員は約100名です。（使用料は無料）

◆市営ニジマス養魚池…市民研修センターから約300メートル。ニジマスを時価で提供しています。（写真1）

◆オマンベツの箱…鉱山林道を上流へ約4キロ、岩の切り立つ溪流があり、この途中から不動の滝へ行くことができます。（写真2）

◆川又温泉…牛舎林道を、車で約10分走ると川又温泉の立札があり、ここから北西の沢を約40分歩くと川原に湯壺があります。

ここからは、摂氏34度の湯が湧き出てい

て、消化器障害、皮膚病などに効果があるといわれています。（写真3）

◆三段の滝…カマンベツ林道を3.2キロ奥へ入り、左手の急斜面を降りると、落差約10メートルの白い絹を滑べらしたような滝が流れています。（写真4）

◆市民研修センター近くの川は、流れもゆるやかで、水遊びなど、暑さをしのぐのに最適です。（写真5）



▲自然の中で活動する楽しさや、集団宿泊生活を体得できる施設として利用されています。

〈写真は、温泉中学校の サマーキャンプから〉

▼男の子だって、米をとぎます。でも水加減が心配…



▲ブロックを利用してご飯たき、野外料理なら、なんでもおいしくいただけます。



▲貸切りバスで入村、同センターができてからは、経費もこれまでの3分の1で済むと喜ばれています。



▲キャンプにきて雨が降っては大変、でもここでは、センター内で日程を消化することができま

サマーキャンプに 参加しませんか

登別青年団体連絡協議会では、市内に住む勤労青少年の友好の輪を広げるため、次のおりサマーキャンプを開催します。

友人お誘い合わせて参加ください。

▽日時 八月十一日～十二日

▽場所 鉱山市民研修センター

▽開会式 八月十一日午後五時

▽持参する物 食器、毛布、洗面道具

▽申し込み・問い合わせ先

市教育委員会社会教育課青少年婦人係 横山（電話5局2111内線350）

郷土史探訪

37

オピラカシのチャシを訪ねて Ⅱ

登別高校北側の高台にある、オピラカシのチャシ（川尻の崖の上の囲い・とりで）がいつ、どのような目的で、どのようにしてつくられたのか、またどんな意味を持っているのかは、資料がないので残念ながらわかりません。

しかし、登別の近くには虎杖浜のポンアヨロと、室蘭の絵柄町にエンルムチャシがあります。

エンルムチャシは年代的にみるとアイヌ文化期（紀元前八百年から百年）のものと思われ、主要な部分も発掘されたので、いちおうの状況がわかります。

特色は、明らかに外敵の襲来を防ぐためにつくられたと思われる幅五ノ九層、深さ三層の溝が掘られ、また斜めに、南向きにある横穴の跡は二十五ノ十五層ほどの丸太状の跡で、丸太の先をとがらせて、いつせいに並べ、戦闘の場合に敵が攻め寄せても十分に守ることが出来る実戦のための備えにしています。

戦いというのと、和人の侵入に対する戦いか、アイヌ人同士の戦いという事になるのでしょうか、オピラカシのチャシは「溝」だけで、その跡はないようです。

しかし、当時のホロベツ地方の居住地は、ワシベツ、ヌブリベツにしても、それぞれの川の流域で海岸に近いところに住んでいたようで、ホロベツも海岸に近いホロベツ川やライバ川の周辺が中心で

深い森林に囲まれ、距離のある要害の地（地勢がけわしく、まもるのによい所）に、溝を掘るだけでも相当な労働力が必要で、人を集めるための理由と命令をする権力者がいなければできません。

オピラカシのチャシをつくる理由の第一として、このような立場からも、当時の大事業であった、「シヤクシャインの乱」をどうしても思いおこさずにはいられません。

「シヤクシャインの乱」とは、最初はアイヌ同士の争いであったものが、和人の不正交易や横暴な搾取の行為に対する反動として、蝦夷地全体に起った乱のことをいいます。

時代は江戸末期になりますが、箱館奉行が東蝦夷地を巡察し、ホロベツ会所に立寄った時に、奉行役人を案内した蝦夷人に、八升俵入りの米を与え、その俵を後で見

ると俵が小さく六升しか入っていない、奉行役人は怒って、ますを持って計ったところが、一升ますが規定よりずっと小さく、出稼ぎ和人の番人が、これで計ってごまかしていたといっています。

自分が相手に物を与えるときは小さいますを使い、相手から物を計ってとるときは大きいですで多くとる、というわるさです。

数をかぞえるときは、例えば、十の数は、はじめ・中・終りの言葉を入れて十三にして相手から多く取る、という手段です。

箱館奉行役人に随行した玉虫左太夫は、ホロベツでのこの状況を著書「入北記」に「そのわるがしこさ、実に思ひむべきことなり」と憤慨しています。

このような事は、津軽藩から蝦夷に隠密に入り調査した「津軽一統志」などにも書かれ、松前藩の秘密主義が露呈されています。

シヤクシャインが立ち上がった

のは、寛文九年（一六六九年）六月、そしてエトモ（室蘭）に攻めのぼったのは七月二十五日、恐らく登別の地域を通過したのは七月二十三日、二十四日頃でしょう。

このような状況から、オピラカシのチャシが作られたとしたならば、シヤクシャインと共に立ち上がったホロベツアイヌが、六月頃につくったのかも知れません。

しかし、十日後の八月四、五日には、オシヤマシベ・シツカリの戦いで敗走し、以後、日高に向かつて退却しています。

進軍の勇壮さにくらべ、敗戦で疲れおとらえたシヤクシャインらが、幌別を通過したときは、どのようなであったのでしょうか。

また、ホロベツから出兵した人達はどうなったのでしょうか、シヤクシャインの乱後に、オピラカシのチャシが築かれたという推測は全く思いつきません。

（登別市郷土文化研究会）

マークを募集します

幌別中央通り商店会では、地域のみなさまから親しまれ、将来の発展をねがって、商店会のマークを、広く一般市民から募集します。

応募要領

- 官製はがき一枚につき一点とし色数は一色、使用絵具は自由とします。住所・氏名・年令・職業・電話番号を記入し、昭和54年8月15日までに送付または持参してください。
- 賞 特選 一名 金二万円
入選 三名 各五千元
佳作 五名 賞品
- 応募先・問合せ先 登別市中央町二丁目四番地 伊藤電機商会 電話⑤2017

たずね犬

五月十八日の夕方、新川町で白い毛のマルチーズが行方不明になり、探しています。お心当たりの方は、ご連絡下さい。お礼をさせていただきます。

● 特徴 五歳のオスで、散歩用の赤い手綱をつけていました。

● 連絡先 市内新川町四丁目二十三番地四 山本のぶ子（電話5局7285）

学校めぐり ⑤

90年超す年輪を刻む

一度は廃校を経験



鶯別小学校

鶯別小学校は、登別小、幌別小とともに、市内では歴史の古い学校で、同校からは富岸小、若草小が分離開校しています。

明治十五年八月に室蘭常盤小学校の鶯別分校として開校しました。鶯別村の戸数減少で、四年後には廃校になっています。

その後、明治三十三年に民家を校舎として創立、今年が九十周年に当たっています。

現在、記念事業共催会が発足して、記念行事の準備が進められています。児童が中心となるよう八十周年に作成し、同校のシンボルにもなっているトーマスボールや、動物を形どった置物の色の塗りかえなどを行なう予定です。同校には、鶯別町、栗町一、二

丁目から九百十二名の児童が通学しています。

校下は、人口が急増して都市化が進む一方、鶯別地域の歴史の流れから、昔から住んでいる人もいて、父兄の職種も多種にわたり、最近では、共働きの家庭も増えています。

非常に多様化されているといえます。

また、校舎は国道36号線沿いにあり、騒音や車からのゴミに悩まされています。

こうした中



七夕集会に向けて、たんざくを飾る児童。

で児童のすこやかな成長を願い、同校では「豊かな心情を培い、活動力に満ちた、健康な心身の育成」を教育目標に掲げています。

中村義勝校長は、児童の生活のようすを「非常に活気と積極性があり、しかも、鶯別という昔から受け継がれてきた、地域の素材さ

もうかがえます。」と語り、学校運営について「地域は、急成長をしているわけですが、豊かな学園づくりのため、緑をふやすなど、学習環境の整備をはかり、児童の落ち着きを取りもどし、情操豊かな人間づくりを努めたい。」と話してくれました。

鶯別小では、学年を結ぶ集団づくりのため、全児童を縦割りに四つのグループに分け、各種学校行事に参加する方式を取っています。

最近では、七夕集会に取り入れられ、高学年が低学年を指導し、相互のふれあいと、協力し合って生活する態度が養われるなど、着々と教育的な効果を挙げています。

文化短信

初心者川柳教室

文化協会川柳部では、初心者を対象に次のとおり「川柳教室」を開催します。

川柳は、十七音字で日常生活の中で起こる様々なできごとや、感じたことをうたう楽しいものです。

この機会にぜひ参加ください。

▽日時 八月十八日(土) 午後一時～三時

▽場所 中央公民館 和室

▽講師 文化協会川柳部会員

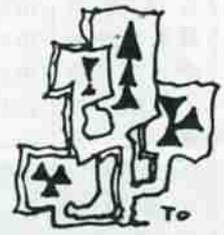
▽受講料 無料

▽問い合わせ・申し込み先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111・内線352)

夏季書道展が開かれます

文化協会書道連盟では、連盟会員による、夏季書道展を次のとおり開催します。

みなさまのご来場をお待ちしています。



▽日時 八月十一日：午後一時～五時、八月十二・十三日：午前九時～午後五時

▽場所 中央公民館 二階ホール

▽入場料 無料

北大ギターアンサンブル演奏会におこしく下さい

市文化協会では、北海道大学ギターアンサンブルを招いて、クラシックからポピュラーまでの楽しい演奏会を次のとおり開催します。

みなさまのご来場をお待ちしています。

▽日時 八月二十日(月) 午後六時三十分から

▽場所 中央公民館 二階ホール

▽入場料 無料

▽演奏曲目 パッパ・小フーガト短調、メリーウイドーワルツ、そよ風のメヌエット、アルハンブラの思い出、ヤマトより愛をこめて、雨物語、その他

「いぶり文芸」原稿募集

胆振文化振興協議会では、「いぶり文芸」第十集の原稿を次のとおり募集しています。

ふるって投稿ください。

▽募集作品 創作二十～三千枚、随筆五～七枚、詩二十～三十行

短歌一人五首以内、俳句一人五句以内、川柳一人五句以内

▽締め切り日 八月三十一日(厳守)

▽作品の送り先 伊達市末永町三三 木村南生方「いぶり文芸編集室」

▽問い合わせ先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111・内線352)

食中毒にご用心

例年夏季になると、食中毒が発生しやすい気象条件が予想されますので次の事柄に十分注意してください。



- 調理前、食事前、用後は手をよく洗きましょう。
- 台所は整理整頓し常に清潔にしておきましょう。
- まな板、ふきんなどの調理器具は水でよく洗って乾燥させておきましょう。
- ハエ、ゴキブリなどの衛生害虫は定期的に駆除しましょう。
- 魚介類などは、水でよく洗って調理しましょう。
- 新鮮食品は、できるだけ早く調理しましょう。
- 調理したものは早く食べましょう。
- 食べる前にできるだけ火を通しましょう。
- 食べ物、低温(5℃以下)で衛生的に保管しましょう。
- 冷蔵庫内の温度管理は適正に行ないましょう。
- 冷蔵庫内の清掃は、定期的に実施しましょう。

食品の管理に万全を 食中毒シーズンです。

「エネルギー問題を考える」

室蘭工業大学では、「エネルギー問題を考える」と題して、一般市民を対象に公開講座を開きます。

深刻な石油不足が問題となっている現在、石油を基盤として成立している現代社会は、石油資源が枯渇したとき、どう対応したらよいでしょうか。

また、石油に代る新エネルギーとは何か、この講座で考えてみましょう。

▽開講日時 八月二十七日～九月七日 午後六時～九時(ただし土曜・日曜日を除く)

▽募集人員 八十名

▽受講料 無料

▽申し込み先 室蘭工業大学学生部教務課(室蘭市水元町二七番一号) 直接窓口へ申し込みください。

▽受付期間 八月六日～十八日

▽申し込み先 室蘭工業大学学生部教務課(室蘭市水元町二七番一号) 直接窓口へ申し込みください。

▽主な内容 エネルギー問題の全貌、石炭とそれの利用、太陽エネルギーの利用、風力・波浪・地熱エネルギーの利用、燃料電池、エネルギーと材料

室大公開講座

▽開講場所 室蘭工業大学(教養講義棟四階 視聴覚教室)

▽講習料 千五百円(申し込み時に納入してください)

▽受付期間 八月六日～十八日

▽申し込み先 室蘭工業大学学生部教務課(室蘭市水元町二七番一号) 直接窓口へ申し込みください。

▽主な内容 エネルギー問題の全貌、石炭とそれの利用、太陽エネルギーの利用、風力・波浪・地熱エネルギーの利用、燃料電池、エネルギーと材料

新着図書案内

市立図書館 5局4324

○最初の目撃者 大岡昇平 ○ふとるやせる 村上紀子 ○ムツゴロウの少年記 畑正憲 ○だいの花 市川房枝 ○愛と哀しみの民話劇場 沼田曜一 ○幸福の絵 佐藤愛子 ○埋火 立原正秋 ○白い夏の墓標 帯木蓬生 ○花と虫の記憶 大庭みな子 ○北海道の昆虫 田辺秀男 ○死定席 森村誠一 ○働きざかりのからだ学 水野肇 ○田子の浦へどらは消えず 甲田寿彦 ○千姫微笑 安西篤子 ○岩に立つ 三浦綾子 ○徳洲会戦略 高野孟 ○うちのマーシャ パンテレーエフ ○モノドンの海の生態学 ○回帰点 小林景子 ○12の瞳で見たドイツ三輪晴啓 ○担任教師から父母への直言 原田治子 ○愛しい女 三浦哲郎 ○愛すれど孤独 吉武輝子 ○一視同仁の果て 加藤邦彦 ○単身赴任 山口瞳 ○ラガナの文章修業 ○さすらいびとの唄 川又一英 ○世界の客船 中村庸夫 ○一点鐘 石原慎太郎 ○新女性問答 深田祐介 ○休暇村の人びと 佐々木章一 ○アウシュヴィツからの旅 鈴木明

※本のご予約は、電話でも受けています。どうぞご利用ください。

肢体不自由児

療育相談を行ないます

市では、北海道肢体不自由児者連合協会の協力を得て、市内に住む十八歳未満の身体の不自由な方の療育相談を行ないます。

実施する要領は次のとおりです

が、身体障害者手帳を持っていない方でも、専門医と気軽に相談ができますので、できるだけこの機会をご利用ください。

▽日時 八月二十九日 午前九時三十分～午後三時

▽場所 幌別町三丁目一七番地「のぞみ園」

▽相談と指導の内容 施設入所の適否、補装具の要否、車いすの要否、その他療育指導

から十二時まで

▽場所 中央公民館

▽定員 三十名

▽申し込み期限 八月三十日(定員になり次第締め切ります。)

▽申し込み先 市保健衛生課(電話5局2111内線279)

▽母子健康手帳をご持参ください。

※当日、子供はつれてこないでください。

※エプロンなどは、不要です。

離乳食講習会

生後三カ月から六カ月までの幼児をお持ちのお母さんのために、栄養士による離乳食講習会(実習指導)を実施します。

お子さんの順調な発育にお役立ててください。

▽日時 八月三十一日 午前十時

○相談日・場所 八月十六日(木)中央公民館和室(定例日)毎月第三木曜日

○受付 午後一時～三時三十分

▽対象児 生後三カ月以上六カ月未満の乳児

家庭児童

母子相談

○相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視聴覚障害、言語障害、心身障害、児童施設入所、登校拒否、母と子のなやみ、その他

※相談の内容によって、室蘭児童相談所に紹介し、知能、性格、医学的診断(心)、検査、助言指導を受けます。

※相談希望者はあらかじめ、市福祉事務所福祉係または、最寄りの支所長にご連絡ください。(担当係 電話5局2111内線256)

股関節脱臼検査

▽日時 九月五日

▽場所 中央公民館

▽受付時間 午前の部：十時三十分～十一時 午後の部：一時～二時

▽定員 午前：二十五名 午後：二十五名

線路横断はやめて



室蘭本線の電化開業を来年の十月にひかえ、市内の鉄道沿線では一日約百六十本の列車運行に加え工事関係のモーターカーなどが数多く運行されています。

このため、線路横断は最も危険で、人身事故が発生するおそれがあります。

特に幌別から幌別間での踏切道以外の線路横断カ所が数カ所あり中でも線路横断の激しい若草町(幌別機関区幌別寄り)では、交通止め用さくを設置にもかかわらず、一部破損され、非常に危険な状態が続いています。

このままでは、列車の運行に支障をきたすばかりでなく、人身事故で尊い人命を失うことにもなりますので、線路横断は絶対にやめてください。

▽受診料金 六百七十円

▽用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ

▽申し込み期限 八月三十一日

▽申し込み先 市保健衛生課(電話5局2111内線279)

▽定員 午前：二十五名 午後：二十五名

富浦墓地行き

無料墓参バスを利用ください

8月13日～16日(1日2往復)

運行時刻表

① 上鶯別・鶯別地区～富浦墓地間					
トヨタ上鶯別寮発	10:00	13:00	富浦墓地発	11:30	14:30
松木商店	10:02	13:02	幌別小学校	11:37	14:37
鶯別公民館	10:05	13:05	幌別駅西口	11:38	14:38
中学校	10:06	13:06	津村商店	11:41	14:41
小学校	10:07	13:07	あかしや団地	11:42	14:42
東鶯別	10:08	13:08	鉄道横断	11:44	14:44
はまなす団地	10:09	13:09	開発局	11:45	14:45
帝国酸素	10:11	13:11	富岸	11:47	14:47
西富岸	10:13	13:13	西富岸	11:49	14:49
富岸	10:15	13:15	帝国酸素	11:51	14:51
開発局	10:16	13:16	はまなす団地	11:52	14:52
国鉄横断	10:18	13:18	東鶯別	11:53	14:53
あかしや団地	10:19	13:19	小学校	11:54	14:54
津村商店	10:22	13:22	鶯別公民館	11:55	14:55
幌別駅西口	10:23	13:23	松木商店	11:58	14:58
幌別小学校	10:30	13:30	トヨタ上鶯別寮着	12:00	15:00

② 幌別地区～富浦墓地間					
登別高校発	10:00	13:30	富浦墓地発	11:15	14:45
西小学校	10:00	13:30	西富浦	11:18	14:48
ホームストア	10:01	13:31	すずらん団地	11:19	14:49
社宅十字街	10:02	13:32	三洋工業	11:21	14:51
フードセンター	10:03	13:33	ソーダ工場	11:22	14:52
幌別小学校	10:04	13:34	東小学校	11:23	14:53
東小学校	10:07	13:37	幌別小学校	11:26	14:56
ソーダ工場	10:08	13:38	フードセンター	11:27	14:57
三洋工業	10:09	13:39	社宅十字街	11:28	14:58
すずらん団地	10:11	13:41	ホームストア	11:29	14:59
西富浦	10:12	13:42	西小学校	11:30	15:00
富浦墓地着	10:15	13:45	登別高校着	11:30	15:00

③ 登別地区～富浦墓地間					
登別駅前発	10:00	13:40	富浦墓地発	11:10	14:50
登別	10:01	13:41	富浦	11:15	14:55
登別中学校	10:02	13:42	登別小学校	11:17	14:57
登別小学校	10:03	13:43	登別中学校	11:18	14:58
富浦	10:05	13:45	登別	11:19	14:59
富浦墓地着	10:10	13:50	登別駅前着	11:20	15:00

不用品ダイヤル市

5局2111内線216

おかけします(売り)

机(木製)、うば車、オー

トバイ(50cc)、洗たく機、

石油ふる釜、あみ機、ガス

台、長火ばち

ゆすってください(買い)

シングルベッド、二段ベッ

ド、大人用自転車、ガスレン

ジ